

機能訓練指導実施報告

① 自主訓練

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施回数	15	16	12	11	16	12	10	9	12	15	12	15	155
延参加者	53	45	36	23	30	34	23	19	27	35	25	29	379
1回平均	3	2	3	2	1	2	2	2	2	2	2	1	2

② 集団訓練

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施回数	1	1	3	3	2	2	1	0	1	1	1	2	18
延参加者	35	35	92	87	73	52	27	0	22	29	30	30	512
1回平均	35	35	30	29	36	26	27	0	22	29	30	15	28

③ 個別訓練

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施回数	6	6	3	3	2	2	3	1	3	2	3	2	36
延参加者	9	16	14	13	6	10	18	5	21	15	7	6	141
1回平均	1	2	4	4	3	5	6	5	7	7	2	3	3

① 自主訓練

理学療法士による個別指導のプログラムを主として看護職員が、援助しながら、下肢機能の維持向上を目指し上記の訓練を実施、なお このプログラムは希望のある方、また 必要性のある一部の方を対象にしています。

平行棒内歩行訓練 3名 杖歩行 1名 歩行器歩行 1名

② 集団訓練

個別指導後に本館ホールにて 30 名前後の入所者の方を対象に理学療法士 1 名が中心となり、軽い体操を実施。

③ 個別指導

担当職員が ADL 上の問題点や筋力低下防止、廃用性症候群予防の為の、月に 1~2 回土曜日に理学療法士による介助方法や訓練内容等の指導を受け実施。

評価

2月23日理学療法士と職員との意見交換。新人研修実施

個別機能訓練を実施している中で困難や不安な点を再指導していただいた。

新人職員に対して基本動作を指導していただいた。

理学療法士からは、車椅子での姿勢が悪い人には、クッション等で姿勢の改善を試してみて、PT 指導でどうかという確認をさせて頂きたい。安全策を考え介助を。まず緊張をほぐしてから訓練の実施を。